2019 年度　　授業概要

科目名	リハビリテーション概論							授業の種類	講義	必修・選択	必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期		1年	前期

【授業の目的・ねらい】
作業療法は、障害のある方のリハビリテーションの一手段である。本講座は、リハビリテーションの目的、理念、対象者、障害と健康、チーム職種、障害者差別などに対しての知識理解を深めることを目的に講義と演習を行う。

【実務者経験】

【授業全体の内容の概要】
リハビリテーションの定義、リハビリ医学と医学的リハビリ、障害の３側面、障害受容の過程、日常生活活動（ＡＤＬ）とは、できるＡＤＬとしているＡＤＬ、するＡＤＬ、チーム職種、リハの動機付け、など

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
リハビリテーションの定義、理念、目的、対象などの基本的知識を身につけ、大まかにでも説明できる。
ＡＤＬ、障害、障害受容の過程を理解し、説明できる。
チーム職種と役割を理解し、説明できる。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	授業オリエンテーション、リハビリテーションの語源・定義、ノーマライゼーション	スライド、資料 プロジェクター
2	健康と障害の概念	スライド、資料 プロジェクター
3	人間活動と発達	スライド、資料 プロジェクター
4	リハビリテーションの過程・諸段階	スライド、資料 プロジェクター
5	チーム医療	スライド、資料 プロジェクター
6	ADL、QOLの概念、評価法	スライド、資料 プロジェクター
7	リハビリテーションの対象疾患，障害受容	スライド、資料 プロジェクター
8	医療・福祉制度	スライド、資料 プロジェクター
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】
プリント資料、スライド資料

【準備学習・時間外学習】
講義終了後、講義の内容を復習し理解を深め、説明できるようにしておく。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】

試験の結果を100点満点として成績を評価する
試験は定期試験のみ実施とし、
60点以上の場合に科目を認定する